

# 夏山 谷川岳山行

(A班)



天神尾根にて全員集合

## 黒羽山の会

食とトイレを済ませ、一路群馬県水上町へ向かう。

6時50分土合口駐車場に到着。出発準備を整え天神尾根からのB班と分かれる。7時10分A班出発。川底の様な足元の不安定な登山道(西黒尾根)をひたすら登る。回りの景色も見えず花も無し。3時間弱でやっと尾根に出る。滑りやすい大

梅雨が明け

ても相変わら  
ずのぐずつい  
た天候の中、8  
月27日谷川  
岳山行が行な  
われました。野  
崎を午前4時  
かっきり2  
台の車に分乗  
し出発。今日は  
10人の参加  
で二班に分か  
れての登山で  
す。

途中、山の会  
御用達の赤城  
高原SAで朝



B班と別れベースロッジを後にします



ここから西黒尾根に入ります

な一枚岩が立ちはだかり、クサリ場も何箇所もあり、ひさびさの試練であった。やがてラクダのコル(1510m)付近に差しかかる。ここからザンゲ岩、トマの耳、オキの耳にかけてお花畑が点在する。ヨツバヒヨドリ、ヤマトリカブト、アザミ、タムラソウ、アキノキリンソウ、オヤマリンドウ、エソシオガマ、ヤマホトトギス、ヨツバシオガマなど等。トリカブトの気品のある紫色が素晴らしい! タムラソ



なかなかの岩場ですがユトリですね



肩の小屋で再び合流し合同下山となる。天神平ロープウェイ山頂駅到着、14時45分。相変わらずまわりの景色見えず。水上温泉で入浴後野崎に予定どおり18時50分到着。今回初めての山谷川岳を勉強させて頂きました。谷川岳の双

ウはアザミと似てて区別が付かない。葉にとげがないのが特徴。ザンゲ岩の切り立った岸壁がそそり立ち谷底に引き込まれそうだった。B班とトランシーバーでの連絡が取れオキの耳で合流。記念写真に納まる。A班待望の食事となる。トマの耳にも立ちよりB班の待つ



たりから見ると猫の耳が二つ立っているように見えるそうです。近くて人気の高い山であるが世界一遭難死者の多い「魔の山」で一般の登山に於いても経験と訓練が必要であると実感致しました。

早朝より安全運転をして下さったドライバーさんお世話になりました。皆様お疲れ様でした。

(B班)

8月27(日)、8月とはいえ梅雨の晴れ間の様な天気の中、空模様を心配しながら集合場所の野崎に迎いました。

会長さんの挨拶の後、定刻4時、2台の車に分乗をして出発です。途中パラパラの雨に見まわれ「あー残念!」と思いましたが雨は一部の場所だけでした。



(大野 記)

耳峰北峰オキの耳(谷川富士・1977m)、南峰トマの耳(薬師岳・1963m)と称するが正しい。呼び方はうやむやで双耳峰二つを谷川岳と呼ぶようになった様である。上越線の上牧あ

時々ガスはとれるのですが・・・

赤城高原サービスエリアで朝食と会費の徴収を済ませ出発。6時30分、土合駐車場到着。ロープウェイ組（B班）と西黒尾根組（A班）に分かれ出発をしました。

B班はロープウェイに乗り天神平に到着です、天神平スキー場は11月には開場になるスキー場だと聞きました。

上り口には、ヨツバヒヨドイの群生があり「わ、綺麗な一言」その後は、花らしい花にも会わず曇りの為回りの景色も見えず木道を進みました。

急な登りを三箇所くらい登ってやっと熊穴沢避難小屋に到着です、小屋には沢山の人達が休憩を取っていました、私達もその中の一員となり少し休みました。

天狗の留まり場とかざんげ岩など名前の付いた場所を眺めながら肩の小屋手前の急騰を登り肩の小屋到着です。A班にトランシーバーにて連絡をしましたが「応答なし」。スマホにて連絡、やはり文明の利器には適わなかった一場面でした、協力金100円を支払ってトイレ休憩をしました。

A班を待つ事なく頂上を目指して出発です、11時30分、トマの耳到着です、谷川岳は相似峰なのでもう一方のオキの耳に行かないと登頂には成らないのもうひと頑張りです。



A・B班合流。谷川岳山頂（オキの耳）にて植竹会長ごめんなさい！他意はありません。



やっと見えてきました、山頂駅



でも、ゴンドラに乗るには行列でした

オキの耳もトマの耳同様、頂上の道標で写真を撮る順番の行列に驚きでした、立座りの様な状態で食事を取り終える頃、A班到着です、全員が揃ったので集合写真を撮り私達B班は一足先に下山の途に着きました。

肩の小屋で又休憩をとりました、登りの時より人が多くなりトイレ待ち時間20分となり待つ間にA班が到着し全員で下山をしました。

晴れていればみえるはずの山々を想像しながら天神平で記念写真を撮りました。お疲れ様でした。

出会えた花々、ヨツバヒヨドリ、アキノキリンソウ、ミヤマハハコグサ、キンポウゲ、ハクサンフウロ、オヤマリンドウ、シヤジン、イワインチン、シラヤマギク、オオカメノキの実など。

（記 頼高）

コースタイム (A班)

野崎——赤城高原SA (朝食・トイレ) ——土合P——ラクダのコー——谷川岳 (昼食)  
 4:00            5:50~6:10            6:50~7:10            9:50~10:00            11:50~12:20  
 A班B班合流  
 肩の小屋——熊穴沢避難小屋——天神平ロープウェイ土合P——野崎着  
 12:30            13:55~14:00            14:45            15:00            18:50

\*参加者

NO	参加者氏名	NO	参加者氏名
01	伊藤 文之	07	大沼 都紀子
02	植竹 健治	08	海津 均
03	薄井 隆男	09	藤田 謙三
04	大野 ミエ	10	頼高 るみ子
05	大金 宣代	11	
06	折橋 昇	12	



登山指導センター

- と き    平成29年8月27日 (日)
- ところ    谷川岳 (群馬県) 1,977m
- てんき    曇り
- おあし    5,600円 6,400円
- あ し    海津車 植竹車
- おあじ    持ち寄り

- CL    A班 薄井 隆男
- B班 海津 均
- SL    A班 植竹 健治
- 記録 報告 大野 ミエ
- 頼高 るみ子
- 撮影    薄井 隆男
- 折橋 昇
- 会計    伊藤 文之

